

授業科目名	スポーツ社会学特講演習		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	北村 尚浩				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1		受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	スポーツ社会学研究法について、これまでの研究成果について概観し、特に、調査研究と文献的研究法の諸外国や日本の研究課題と展望を考究する。 社会学的研究法の基礎を学ぶとともに、その研究法の現状と課題を習得する。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。					
テキスト、教材 参考書	随時提供する。					
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)				
オフィス・アワー	北村：610研究室(要アポイントメント)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	北村 尚浩	スポーツ社会学的研究の必要性			文献抄読(1時間)	
2	"	スポーツ行動研究			文献抄読(1時間)	
3	"	スポーツ集団研究			文献抄読(1時間)	
4	"	ライフスタイル研究			文献抄読(1時間)	
5	"	QOL研究			文献抄読(1時間)	
6	"	Aging研究			文献抄読(1時間)	
7	"	プレゼンテーション			発表準備(1時間以上)	
8	"	文献資料研究の方法と課題			文献抄読(1時間)	
9	"	社会学的研究におけるスポーツ文化研究の方法			文献抄読(1時間)	
10	"	社会学的研究におけるスポーツ社会史研究の方法			文献抄読(1時間)	
11	"	日本のスポーツ社会文化研究の動向と課題			文献抄読(1時間)	
12	"	諸外国のスポーツ社会文化研究と課題			文献抄読(1時間)	
13	"	社会学的研究における事例研究調査			文献抄読(1時間)	
14	"	社会学的研究における事例研究調査			文献抄読(1時間)	
15	"	プレゼンテーション			発表準備(1時間以上)	